

米府鹿子

べいふかのこ
米府鹿子の著者は米沢藩士（御日帳方）の原田直久。全6巻。

近世期の代表的な米沢の地誌書である。上級家臣団の石高、菩提寺、家紋が記されている。その中に香坂の名が見える。国立国会図書館は、「米府鹿子/米府鹿之児」を所蔵しておりデジタルライブラリーで公開している。

(川端紅葉著 2026・3・2)



「米府鹿之児」（巻一、二、三合冊、国立国会図書館所蔵）



「米府鹿之児」(第3巻 56 コマ、国立国会図書館所蔵)

左から2人目に「香坂」が記されている。



「米府鹿之児」(第3巻 62 コマ、国立国会図書館所蔵)

右から1人目及び2人目に「香坂」が記されている。